

1. 量産品の油圧ショベルでのリスクアセスメント <設計製造時>

(建設機械製造業)

【事例の位置づけ】

この事例は、全社的な製品安全についての取り組みを進める中で、当工場が油圧ショベルの設計製造段階におけるリスクアセスメントを実施したものです。当工場が制定した「リスクアセスメント実施規則」に基づき、構想時および出荷前に実施したリスクアセスメント事例について、実施手順と様式および記載方法を示した上で、油圧ショベルを対象とした具体的なリスクアセスメント手法等を紹介しておりますので、機械設備の設計製造時におけるリスクアセスメント実施の好事例として参考になるものです。

1 事業場の概要

1.1 業種：

機械製造業

建設機械等の製造

1.2 労働者数：

約3,000人

1.3 主な製造物

油圧ショベル

油圧機器

環境リサイクル機械

2 設計製造時のリスクアセスメント取り組み状況（全体概要）

2.1 企業のリスクアセスメントへの取り組み方針、背景等：

(1) リスクアセスメントへの取り組み方針、設計製造管理体制上の位置づけなど
製品安全に関する全社的な体制は、資料1に示すとおりである。

(2) リスクアセスメントに関する社内規定の概要

全社の「製品の安全性に関する指針」に基づき、当工場では「製品安全規則」、「リスクアセスメント実施規則」、「製品安全設計基準」を工場規則として制定している。

当工場の「リスクアセスメント実施規則」に基づき、当工場規格として「リスクアセスメント実施要領」を制定している。

全社のリスクアセスメント実施要領についての規定は無いが、当工場規格を全社規格にするべく現在作業中である。

(3) リスクアセスメントの実行組織と人員体制の概要

リスクアセスメントの主幹部署は設計部門が担当するが、リスクアセスメントの実施に際